令和4年 第10回別海町教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年9月2日(金)
10時00分から11時00分まで
- 2 開催場所 別海町役場3階301会議室
- 3 出席者 (4名)
教育長 登藤和哉
教育委員 大塚保男
教育委員 粥川一芳
教育委員 森野志保
- 4 出席職員 (15名)
教育部長 山田一志
教育部次長 宮本栄一
指導主幹 相澤要
指導主幹 稲村和典
学務・スポーツ課主幹 齋藤陽
学務・スポーツ課主幹 恒川敦史
学務・スポーツ課主査 大山晋作
学校教育課長 池田卓也
学校教育課主幹 堀込美穂
生涯学習センター長 新堀光行
生涯学習課長 福原義人
西公民館長 小村茂
東公民館長 大坂恒夫
図書館長 堺啓
- 5 議事日程 議案第1号 別海町生涯学習センター設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号 別海町学習センター設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議案第3号 令和4年度教育費予算の補正について

教育長
(登藤和哉君)

－【開 会】－

ただいまから、令和4年第10回の別海町教育委員会議を開会いたします。

本日の出席者は4名です。

別海町教育委員会議規則第5条の定足数に達しておりますので、会議の成立を宣言いたします。

開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には、時節柄ご多用のところ出席を賜り感謝を申し上げます。

先週に引き続きの教育委員会議となりますが、よろしく願ひいたします。

8月30日に上風連で開催されました小中一貫教育に関する地域説明会について報告いたします。

教育委員会では、教育内容や学習の量的・質的充実に対応するため、義務教育9年間を通じた教育課程を編成し、物事が全体としてまとまった系統をなす、小中一貫教育を推進しています。

今までも、各コミュニティ・スクールでこのことについて説明してきたところでありますが、特に関心の高い上風連地区ではコミュニティ・スクールの役員だけにはとどまらず、上風連地区にお住いの全ての住民の方に対し、情報共有することを目的に開催されました。

当日の内容については、小中一貫教育についてと、導入校についての2点ですが、それぞれに質疑応答の時間が用意されました。

小中一貫教育や導入校の説明に対し、多くの住民から質問がされ、一部を紹介しますと、義務教育学校と一貫教育の違い、先生の人事異動の周期、統廃合ありきの話ではないのか、丁寧な説明が必要などの、質問や意見があり非常に関心の高さが、うかがい知れたところがあります。

また、今回の説明会を踏まえ、今後早い時期に学校運営協議会の開催を図ることなどが決定され、2時間があっという間に経過したと感じたところがあります。

このあと、一部の地区においても学校運営協議会が開催されますが、教育委員会では10月中旬には、各地区の代表者に参集していただき、各地区の状況などの意見交換する交流会を開催することとしています。

教育委員会としても各地区での要望に応えるよう丁寧な説明をしたいと考えています。

本日の議案は、補正予算1件、条例の一部改正が1件、規則の制定

が1件の合計3件です。

どうぞよろしくお願ひいたします。

－【前回会議録の承認】－

教育長
(登藤和哉君)

それでは日程第2前回会議録の承認に入ります。

令和4年第9回の会議録につきまして、事前に委員の皆様は事務局から送付しておりますので、訂正御意見等がありましたら発言をお願いしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

なければ承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

それでは、第9回の会議録について承認することといたします。

－【報告】－

教育長
(登藤和哉君)

次に、日程第3報告に入ります。

8月24日に開催をいたしました第9回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局、報告をお願いいたします。

教育部長
(山田一志君)

それでは、8月24日開催の第9回教育委員会議以降、本日までの主な行事や実施事業等について、配布の資料により御報告いたします。

8月24日、令和4年度第1回別海町文化財保存活用地域計画協議会を開催しまして、教育長が出席をしております。

30日、上風連地域センターで上風連学校区小中一貫教育に係る地域説明会が開催され、教育長及び関係職員が出席をしております。

同日、別海町生涯学習センターみなくるで、第2回別海町社会教育委員の会議兼ねて別海町公民館運営審議会が開催され、教育長及び関係職員が出席をしております。

9月1日、ピティナ・ピアノコンペティション全国大会入賞に係る表敬訪問があり、教育長が健闘を称えております。

2日、本日、第10回教育委員会議の開催となっております。

以上で報告を終わります。

－【議事】－

教育長
(登藤和哉君)

それでは、日程第4議事に入ります。

はじめに、議案第1号別海町生涯学習センター設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、を議題といたします。

事務局説明をお願いします。

生涯学習センター長

議案第1号、別海町生涯学習センター設置及び管理等に関する条

(新堀光行君)

例の一部改正について、ご説明致します。

議案は1ページから5ページまで、議案資料は1ページから10ページまでとなります。

最初に、改正に至る経過ですが、本年3月に本条例を制定し、4月からプレオープンの形で供用開始しております、別海町生涯学習センターの管理及び運用について、条例制定時の質疑等や、町民をはじめ利用者からのご意見等を踏まえ、付属設備及び備品の使用料の規定の追加や、規定表現について一部文言の修正等が必要となったことから、本条例の一部を改正しようとするものです。

次に、改正のポイント概要です。

1点目、施設使用料の利用形態、ホール半面の利用の追加、及びホール名称の変更。

2点目、付属設備及び備付物品使用料の規定の追加。

3点目、禁止行為、営利目的に関する例外規定ただし書きの追加。

以上の3点が主な改正点となっており、その他文言整理を行っています。

それでは、議案の朗読は省略し、議案資料にて説明します。

議案資料1ページをお開きください。

条例の一部を改正する新旧対照表となります。

右側が改正前、左側が改正後、下線部が今回改正する箇所となります。

条例第8条第2号使用の制限では、改正前では、建物、付属設備又は備付物品を略称し、以下、付属設備等という、と規定していましたが、略称の他の規定で建物を含む、含まないで紛らわしい箇所があることから、略称を削除するものです。

略称を削除することで、これまで一部混在していた建物、付属設備、備付物品の区分けが明確になります。

次に、第9条使用料では、これまで規則に規定していた付属設備及び備付物品の使用料について、これまで全てが整っていない状況にありましたが、コンサート用ピアノ以外の付属設備も確定し、備付物品も整備されたことから、新たにの条例に使用料を規定するもので、詳細については、別表第2で規定しています。

併せて、付属設備等の略称表現も削除しています。

次に、条例第15条原状回復及び次のページの第16条損害賠償について、第8条と同様に略称を削除することによる、文言整理です。

次に、条例第19条行為の禁止については、第19条にただし書き

を追加し、ただし教育委員会の許可を得て行う営利行為は、この限りでないことを規定します。

これまで同様に、もっぱら営利を目的とする行為は禁止していますが、多くの町民の方々や利用者の方々から希望、要望のあったことを踏まえ、申請により、その内容の公共性や町民、利用者への利便性等を考慮して判断していくこととしています。

なお、その使用料については、公民館条例と整合性を持たせております。

5ページをご覧ください。

別表第1の付記の第2項として追加し、使用者が入場料又はこれに類するものを徴収し、若しくは営利を目的とした行為をする場合の使用料は、本表使用料の10倍以内とし、町民以外が使用する場合には本表使用料の2倍以内として教育委員会が別に定める、として規定しています。

また、ただし書きに規定する営利を目的としない物品の販売等について、その内容等や申請に関することは、後ほど説明する規則で規定しています。

2ページにお戻りください。

別表第1関係、第9条1項関係です。

別表第1号、センター使用料一覧では、室名の行、ホールについて、これまで全面利用のみを想定した使用料としていましたが、リハーサル室の利用が予想以上に混み合っており、利用者から、活動が思うようにできないなど、要望や意見があったことを踏まえ、新たにホール半面使用料670円を追加するものです。

次に4ページにお進みください。

第2号付帯施設使用料一覧では、付帯施設、青少年プラザの各室の名称を変更するものです。

最上段、改正前マルチメディアホールを、プラザホールへ、研修室を研修室1へ、4段目、会議室を研修室2へ、それぞれ改めるものです。

5ページに進み、先ほど説明したとおり、別表の付記の第2項として入場料の徴収、営利を目的とした行為をする場合の使用料、及び町民以外が使用する場合の使用料は、教育委員会が別に定める旨、追加し規定しています。

次に、別表第2関係ですが、付属設備と備付物品の使用料を規定したものです。

5ページから9ページにかけてとなります。

第1号では、センターの付属設備使用料の一覧で、表は左から付属設備、内訳、単位、金額の順で、舞台照明機器は、内訳に記載のスポットライトをはじめとする機器一式を1回使用する金額が2,360円となります。

以下、同様に舞台音響反射板側面・天井・背面一式を1回使用する金額が4,610円、舞台音響設備マイクをはじめとする機器一式を1回使用する金額が1,160円、舞台映像機器、プロジェクターをはじめとする機器一式を1回使用する金額が1,350円、リハーサル室音響設備スピーカー、マイク等機器一式を1回使用する金額が980円、リハーサル室コンサートグランドピアノを1回使用する金額が550円。

7ページにお進み頂き、陶芸室陶芸用電気窯、素焼き1回使用する金額が1,320円、本焼きが1回2,200円、木工美術室木工用工作機器一式を1回使用する金額が5,040円、団体活動室ロッカー各種、鍵付きロッカー月額金額で、大が1,200円、小が600円、棚タイプのロッカーが1段300円と規定しています。

購入金額に対し、受益者負担を乗じたものとして使用料を定めています。

第2号では、付帯施設、青少年プラザの付属設備使用料の一覧で、7ページから8ページにかけて、表は左から付属設備、内訳、単位、金額の順で、プラザホール映像装置は、内訳に記載のビデオプロジェクタ、ビデオデッキをはじめとする装置一式を1回使用する金額が2,060円となります。

以下、同様にプラザホール音響設備、マイクをはじめとする機器一式を1回使用する金額が490円となります。

第3号では、センターの備付物品使用料の一覧です。

9ページにかけて、表は、左から備付物品、単位、金額の順で、最上段の、プロジェクター小、スクリーン、延長コード等を含む機器一式を1回使用する金額が370円までを規定しています。

以下、同様に9ページ、最下段のコンプレッサー一式を1回使用する金額が300円までを規定しています。

また、別表第2の付記として、第1項では、使用者が入場料又はこれに類するものを徴収し、若しくは営利を目的とした行為をする場合の使用料は、本表使用料の10倍以内とし、町民以外が使用する場合には本表使用料の2倍以内として教育委員会が別に定める旨を、第2項では本表の使用料中について、一式に組み込まれた物品を一部使用しない場合であっても、使用料の減額は行わない旨を、第3項

ではコンサートグランドピアノを使用する場合の調律料は使用者の実費とする旨を規定しています。

最後に附則として、第1項では施行期日、この条例は令和4年10月1日から施行する、第2項では経過措置、改正後の別表の規定は、施行日以後の使用に対する使用料で、施行日以後に納入通知書を発行するものについて適用し、施行日前の使用に対する使用料及び施行日以後の使用に対する使用料で施行日前に納入通知書を発行したものについては、なお従前の例による、とするものです。

以上で、議案第1号の内容説明を終わります。

教育長
(登藤和哉君)

ただ今、議案第1号について内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

御質問がなければ採決をさせていただきます。

議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

異議がないようですので、議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

続きまして、議案第2号別海町生涯学習センター設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、を議題といたします。

事務局説明をお願いいたします。

生涯学習センター長
(新堀光行君)

議案第2号別海町生涯学習センター設置及び管理等に関する条例施行規則の一部改正について、ご説明致します。

はじめに、規則における改正に至る経過ですが、先ほども、議案第1号と同様な内容であることなどから割愛をさせていただきます。

次に、規則における改正のポイント概要ですが、条例改正に関わって、条例を実施、執行するために必要な、具体的な事項を定めなければならないとされていることから、改正を行いたいとするものです。

1点目として、付帯施設、別海町青少年プラザを含めた施設として、センター等と規定。

2点目、明記のなかった青少年プラザの開館時間を規定。

3点目、付属設備・備付物品の使用料の条例への規定による削除。

4点目、営利行為の許可に関する申請許可制による文言の追加と整理。

5点目、別表第2を別表第1とし、各様式の変更と追加となりま

す。

以上の5点が、主な改正点となっており、その他文言整理を行っています。

それでは、議案書は6ページから16ページ、議案資料は11ページから24ページとなりますが、議案の朗読は省略し、議案資料、新旧対象表により説明しますので、議案資料11ページをお開きください。

規則の一部を改正する新旧対照表となります。

右側が改正前、左側が改正後、下線部が今回改正する箇所となります。

規則第2条、職務では、改正前では、別海町生涯学習センター、以下センターという、とあるのを、及び別海町青少年プラザ以下、センター等という、を追加し、運営・管理を行うべき施設として青少年プラザを追加しました。

1条を飛ばし、12ページまでとなりますが、次に、規則第4条開館時間及び休館日では、これまで、青少年プラザの開館時間が規定されていなかったことから、新たに午前9時から午後6時までとして規定するものです。

次に、規則第7条付属設備又は備付物品の使用料では、これまで、先ほど条例の一部改正でもご説明した通り、付属設備と備付物品の使用料を条例で規定することから、本規則から削除するものです。

続きまして、議案資料14ページをお開きください。

15ページまでとなりますが、規則第12条営利行為の許可では、これまで規則において、営利を目的としない物品等の販売として許可を受けることとしておりましたが、条例第19条ただし書きに、ただし教育委員会の許可を得て行う営利行為は、この限りでない、と追加しその具体的な事項について規定しています。

条例第12条でご説明しましたので、詳細は割愛いたしますが、教育委員会に必要な書類を添付申請し、その内容の公共性や町民、利用者への利便性等を考慮して審査し、教育委員会からの許可書を受けるとしています。

なお、物品の販売、その他これに類する営利行為として、許可判断内容も含めて、16ページにあります別表第1として大きく3項目を規定しています。

次に全体となりますが、規則第2条第2項職務、第3条分掌事務、第4条開館時間及び休館日、第5条使用の許可、第9条特別設備の許可、第10条使用等の打合せ等、第11条使用者の遵守事項、第12

条入場の制限では、規則第2条の改正により、センターをセンター等に改め、第7条が削除されたことによる条項を、1条ずつ繰り上げ文言を修正したものです。

次に、17ページから22ページまでとなる、第1号様式使用申込書から、第6号様式特別設備許可書では、規定の改正による各様式の文言の修正となります。

次に、22ページから23ページまでとなる、第7号様式営利行為等申請書、第8号様式営利行為等許可書では、規則12条営利行為等の許可、規定によります申請書と許可書を、新たに追加するものです。

最後に、附則として、この規則は令和4年10月1日から施行する、とするものです。

以上で、議案第2号の内容説明を終わります。

教育長
(登藤和哉君)

ただいま議案第2号の内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

なければ採決をさせていただきます。

議案第2号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

異議がないようですので、議案第2号について原案のとおり決定することといたします。

次に、議案第3号令和4年度教育費予算の補正について、を議題といたします。

事務局説明をお願いいたします。

教育部長
(山田一志君)

議案書17ページをお開き願います。

議案第3号令和4年度教育予算の補正について、別紙のとおり別海町長に申し出するものです。

最初に、私から教育委員会全体の補正概要についてご説明申し上げます。

補正予算書1ページをお開き願います。

まず歳入です。

主に、新型コロナウイルス感染症対応交付金事業による財源の内訳変更によるもので、また、生涯学習センター図書コーナー蔵書整備として受けた寄付金等の額を合わせまして、ページの最下段に記載の通り、教育委員会歳入合計で12,330千円の増額となっていま

す。

次に歳出です。

補正予算書2ページをご覧ください。

歳出全般にわたり、歳入と同様、新型コロナウイルス感染症対応交付金事業に伴う補正となっており、また、派遣費補助金とパイロットマラソン補助金については、予算不足により増額するものです。

2ページの最下段に記載の通り、教育委員会歳出合計で16,164千円の増額となっています。

引き続き、各課から内容について詳細に説明させます。

それでは、学務・スポーツ課、学校施設担当分の補正予算の内容について説明いたします。

補正予算書の2ページをお開き願います。

歳出の上段からになります。

2款1項17目新型コロナウイルス感染症対策事業、小学校校内通信ネットワーク整備事業、業務委託料1,150千円の増、器具費2,111千円の増、次の段からになりますが、中学校校内通信ネットワーク整備事業、業務委託料1,165千円の増、器具費1,773千円の増につきましては、現在、光回線未整備地区の小学校、中学校、上風連、中西別、中春別、上春別地区において通信回線をADSL回線などから光回線への移行を進めております。

その際に、現在使用している低速なネットワーク機器の更新、並びに更新に伴う設定作業等を行うことにより、光回線の通信速度を十分に確保し、校務の利便性を高めようとするものです。

なお、今回の機器の更新については、主に職員室につながっている校務用のネットワークに係るもので、GIGAスクール構想に基づき教室等に整備した教育用ネットワークについては、当初から光回線への移行を前提として整備を行っていることから、機器の更新の必要はないものとなっております。

次に中段になります。

新型コロナウイルス感染症対策事業、小学校グループウェアリニューアル事業、業務委託料2,068千円の増、中学校グループウェアリニューアル事業、業務委託料2,068千円の増につきましては、小・中学校及び幼稚園で使用しているメール機能や文書管理機能などを搭載したグループウェアについて、導入以来全面的な改修が行われておらず旧式化していることから、メールなどに関する各種機能の追加や、タブレット端末などからのアクセスに対応したデザインの改修を行い、校務の効率化などを図ることとするものです。

学務・スポーツ課
(恒川敦史君)

なお、補正予算要求を行っている校内通信ネットワーク整備事業、グループウェアリニューアル事業につきましては、新型コロナウイルス感染症対策事業として、地方創生臨時交付金を財源としていることから、総務費として予算要求しております。

以上、学校施設担当分の内容説明といたします。

引き続き、学務・スポーツ課スポーツ推進担当分について説明いたします。

補正予算書2ページの中段になります。

10款6項1目スポーツ団体等派遣費補助事業負担金補助及び交付金の2,850千円の増額ですが、この補助制度につきましては、町内に住所を有する個人及び団体が、予選を勝ち抜き、全道や全国大会等に出場する際に一定の基準に基づいて、交通費や宿泊費を補助するものですが、今年度につきましては、全道大会等に出場する団体が多く、予算に不足が生じる見込みとなったことから今回増額するものです。

続きまして、2ページの中段になります。

10款6項5目パイロットマラソン事業負担金補助及び交付金の3,790千円の増額ですが、これにつきましては、パイロットマラソンの参加者が予定人数より少なく、それに伴い参加料が減ったことと、近年の原材料費の高騰の影響を受けたことにより、委託料等が大幅に増額になったことから、今回増額するものです。

以上でスポーツ推進担当の説明は終わりますが、学務・スポーツ課全体では、合計16,975千円の増額となっております。

説明は以上です。

学校教育課主幹
(堀込美穂君)

続きまして、学校教育課要求分について説明いたします。

予算資料1ページの歳入をご覧ください。

上段が学校教育課要求分です。

15款2項6目教育総務費補助金については、Let's Challenge 学習支援事業に係る交付金です、Let's Challenge 学習支援事業においては、既に当初予算で計上しているところですが、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を財源として活用するものとして、3,260千円を計上しています。

次に歳出です。

2ページ、中下段が学校教育課要求分です。

2款1項17目新型コロナウイルス感染症対策事業の幼稚園グループウェアリニューアル事業です。

委託料776千円の増は、先ほど学務・スポーツ課から説明のあり

中央公民館長
(新堀光行君)

ました、小・中学校と同様の事業を公立幼稚園においても行うための経費として計上しています。

以上で学校教育課分の内容説明を終わります。

続きまして、中央公民館分の補正予算について説明いたします。

初めに歳入です。

補正資料1ページ4段目からになります。

18款1項2目社会教育寄附金生涯学習振興基金200千円の増については、別海町生涯学習センター図書整備に係る寄付受納による増額です。

次に歳出です。

補正資料2ページ18段目からになります。

10款5項10目委託料清掃委託料1,587千円の減については、別海町青少年プラザ施設の清掃委託料執行残による減額です。

以上で、中央公民館分の内容説明を終わります。

図書館長
(堺啓君)

それでは、別海町図書館の補正予算を説明させていただきます。

歳入です。

15款2項6目教育費国庫補助金が41,470千円の増額。

22款1項8目教育債が32,600千円の減額となっています。

これらは図書館空調設備改修工事を、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を利用して実施するための財源内訳変更に伴う増額及び減額のため、支出予算の増減はありません。

以上で内容説明を終わらせていただきます。

教育長
(登藤和哉君)

ただいま議案第3号の内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

はい、大塚委員。

教育委員
(大塚保男君)

光回線の未整備地区の整備ということで、実際に工事が完了するのはいつ頃になりますか。

学務・スポーツ課主査
(大山晋作君)

現在、現地調査をNTTと行いまして、予定としましては、早ければ10月上旬という事で話が進んでおります。

教育委員
(大塚保男君)

工事が終われば未整備地区の子ども達もタブレットが利用しやすくなるという事でよろしいですか。

学務・スポーツ課主査
(大山晋作君)

通信速度については改善されると思われます。

それと、機器の更新も併せて今回の補正予算で上げさせてもらっている物の整備が終わりましたら、別海地区と同じ速度の通信環境になると思います。

教育委員

わかりました。

(大塚保男君) 教育長	他にございませんか。
(登藤和哉君) 教育長	(「なし」の声あり)
(登藤和哉君)	なければ採決をさせていただきます。
	議案第3号について、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。
	(「異議なし」の声あり)
教育長 (登藤和哉君)	異議がないようですので、議案第3号について原案のとおり決定することといたします。
	－【その他】－
教育長 (登藤和哉君)	それでは日程第5その他に入ります。 事務局から何かありませんでしょうか。 委員の皆様方から何かありますでしょうか。 はい、森野委員。
教育委員 (森野志保君)	生涯学習センターの使用について、お尋ねしたいのですが、無料で使用できる範囲は、小、中学生と町内の高校生も無料でしょうか。 町外の高校生についてはどのようになりますか。
生涯学習課長 (福原義人君)	現在、町内の高校生については、原則無料としています。 受付の段階で学生証等の確認を行っていません。 例えば、申し込みの段階で町外の住所を書かれている場合には、改めて学生証等を確認させていただく事になっていますが、現在までの半年間、町外の高校生の利用は確認されておりません。
教育委員 (森野志保君)	町外の方が無料で使うことによって、町民が使えない場合があったりするのかと思います。
生涯学習課長 (福原義人君)	委員ご指摘のとおり的事案が発生する可能性があると思います。 行事等の場合で混在した場合には、改めて調整しながら進めていきたいと考えております。
教育委員 (森野志保君)	管内によって、公共施設の利用料が違うので、なるべく町民が優先されるように調整していただければと思ってお尋ねしました。 ありがとうございました。
教育長 (登藤和哉君)	その他、何か聞きたいことはありませんか。
教育委員 (大塚保男君)	はい、大塚委員。
学務・スポーツ課 (恒川敦史君)	10月になるとパイロットマラソンがありますが、今の進捗状況や開催に向けて何かありますか。 現在、10月2日の開催に向けて、準備を進めているところです。 7月29日までの申し込み期間で参加者数は、フルマラソンが863名、5キロの健康マラソンが、253名、合計で1,116名の